

学習指導案の形式（例） 高等学校

◇学習指導案には、定まった形式や基準はない。生徒の実態や指導内容、指導者の構想や意図により、様々に創意工夫していくことが求められている。「高等学校学習指導要領解説（平成30年7月 文部科学省）」、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（令和3年8月 国立教育政策研究所）」等を参考に作成する。

芸術科（音楽○）学習指導案

○○高等学校 ○○科 ○年○組
令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 題材名 ○○○○○○

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。

2 本題材で扱う学習指導要領の内容
例：音楽Ⅰ A表現 (3)創作ア、イ、ウ（ウ） 及び 共通事項（1）

◇ねらいを明確にするために、特に焦点を当てたい指導事項（内容）を絞る。
◇題材で扱う事項の内容の領域と記号を明記する。

3 題材の目標

◇学習指導要領で示された目標及び内容を踏まえ、生徒の実態等を考慮し、設定する。

【例 目標を3観点で表現する場合】◇育成を目指す資質・能力に分けて書く。

- （1）「知識及び技能」に関する目標（例：～理解する。～身に付ける。等）
- （2）「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～表現する。等）
- （3）「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～態度を養う。等）

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
～している。	～している。	～しようとしている。

◇評価規準の設定に当たっては、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」等を参考に適切に設定する。参考資料の巻末に「内容のまとまりごとの評価規準(例)」が記載されている。
◇「知識・技能」は「内容のまとまりごとの評価規準(例)」を基に、評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。
◇「思考・判断・表現」は「内容のまとまりごとの評価規準(例)」を基に、評価の観点の趣旨を踏まえて、評価規準を作成する。
◇「主体的に学習に取り組む態度」は「内容のまとまりごとの評価規準(例)」を基に作成する。

5 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
			〈 〉内は評価方法		
一	1	(例)			
		◆			
		○			

◇指導者の立場で書く。

6 指導上の立場

- 題材観
- 生徒観
- 指導観

- ◇題材観…学習指導要領の記述から「題材を通して身に付けたい力」について整理すると共に、「題材の系統性」(何を学んできたのか、今後どんな学びにつながるのか)も併せて整理する。その際、教科書教材や資料集等の分析を行い、その題材の難しさを把握し生徒の学習課題を把握して書く。
- ◇生徒観…題材や本時に関する「既習事項の定着状況」と「学習に対する課題」を生徒の実態として記述し、整理する。
- ◇指導観…題材観と生徒観で記述した「学習上の課題」を克服するための指導者の意図や思いを「学習指導のためのアプローチ」として具体的な指導・支援の手立てを書く。これが研究授業の「研究仮説」や「提案性」につながる。

7 本時案 (第○次第○時)

(1) 本時の目標

- ◇「3 題材の目標」「5 指導と評価の計画」との整合を図る。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇生徒の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1	○	
◇生徒の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇生徒の立場で書く。
目標		
2		
(1)	○	
◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。	◇題材における本時の位置づけを踏まえ、何をどのように学ぶのかを明確にし、生徒の立場で本時の目標(又はめあて・課題)を書く。	◇題材を通して資質・能力を育成することを踏まえ、本時の評価規準を具体的に表現する。
(2)	○	
◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、生徒の学習活動を具体的に書く。 ◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード(授業5)」を参考にする。	◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。 ・生徒が主体的に学習を進めるための手立て ・生徒が対話的に学習を進めるための手立て ・生徒が学習を深めるための手立て ・生徒一人ひとりの学習状況に応じた手立て ・予想される生徒の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物 等 ◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。 ◇「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への手立てを書く。	◇評価の場面は1、2箇所を絞る。 ◇評価規準に合わせて、評価の観点を明記する。 ◇評価方法を具体的に書く。 (例) ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・演奏の聴取等
3	○	
4	○	
まとめ	○	
	◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時の目標と対応したまとめを書く。	
5	○	
	◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう生徒の姿について、想定される生徒の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な生徒の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

(3) 準備物

- ◇ワークシート等必要な準備物を書く。